

# たけのこだより

第5号

荒川区立第二瑞光小学校  
たけのこ教室  
令和6年3月5日・11日

三寒四温の言葉どおり寒さと温かさが入り混じる毎日ですが、体調など崩されてはいませんか。

早いもので、たけのこ教室は1年間の学習を無事終えることができました。この1年間で子どもたちは、それぞれの課題に挑戦し自分なりの取り組み方を身に付けてきました。今までできなかったことができるようになった時の子どもたちの生き生きとした顔を見ると、とても嬉しく大きな成長を感じます。

保護者の皆様には毎週の日課表への記入をはじめ、子どもたちを温かく見守り支えてくださったことに感謝いたします。1年間、ありがとうございました。

## 《 お知らせ・お願い 》

- ① 保護者面談へのご協力、ありがとうございます。2月下旬～3月中旬にかけ、順次、たけのこ教室保護者面談を行っています。今年度のお子様の様子や成長した姿、また、次年度への課題などをお話させていただいています。次年度もたけのこ教室を継続するお子様については、引継ぎをしっかりと行いながら指導にあたっていきたいと思っております。
- ② 今年度の日課表についてですが、1～5年生は最終日の日課表を確認後、ファイルに綴じたままの状態で春休み前までに学校へお戻しください。  
来年度の巡回曜日や学習時間、担当教員等は、来年度初旬に通知いたします。
- ③ 中学校への引継ぎや、他機関（病院や放課後デイなど）との情報共有のために、ご家庭で学校生活支援シート（個別の教育支援計画）の保管（ファイリング）をお勧めします。

## 《 たけのこ教室 3学期の活動紹介 》

### 協力活動「協力名人になろう～ステレオクイズ～」

「ステレオクイズ」とは、出題者と解答者に分かれ、出題者チームの複数人が同時に別の言葉を発し、何の言葉を行っているのかを当てるクイズです。「話し合って協力しよう」「みんなで決めたことを最後までやろう」を活動のめあてとしています。

ステレオクイズでは、役割分担して協力することが重要です。解答者の時は、だれがだれの声を聞くのか、聞こえた文字を集めると、どのような答えになるのかなどを話し合う場面が多くあります。

子どもたちは、「～はどう？」「～の人はいますか？」などと伝えたり、意見を譲ったりしながら活動することができてきています。

### ☆ やり方 ☆

- 1、チームに分かれる
- 2、問題づくり
- 3、クイズタイム
- 4、正解発表



## 協力すること

学校では、班活動や係活動、掃除や給食準備などで友達と協力する場面がたくさんあります。たけのこ教室では、「5つの協力」を学習しています。

### ○「5つの協力」

- 意見で協力 ……みんなが意見を出して1つの意見にする。
- いっしょで協力 ……同じことを全員でいっしょにする。
- 分担で協力 ……役割を決めて仕事を分担する。
- 交代で協力 ……同じ仕事を交代でやる。
- 手伝う・アドバイスで協力 ……気付いたことを手伝ったりアドバイスしたりする。

さまざまな活動を通して、一緒に行動する、声を合わせる、声を掛ける、相談するなどいろいろな「協力のしかた」があることを学んでいます。

### ○「協力すること」をめあてに行っている小集団活動の一部をご紹介します。

#### ★ スリーヒントクイズ

3つのヒントから正解を当てます。  
自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりすることをめあてとしています。



#### ★ UFO キャッチャー

2人1組のペアに分かれ、輪ゴムでつくったクレーンを伸ばしたり縮めたりしながら得点の書かれた箱を運びます。どの「箱」を狙うか、「置き方・積み上げ方」を話し合っ  
て決めます。相手をよく見て、動きを合わせることをめあてとしています。

#### ★ たけのこモルック

得点を書かれた筒(スキttl)に棒(モルック)を当てて倒し、目標の得点に近付けるスポーツです。決まった点数を超えると得点が半分になってしまうので、作戦が重要になります。

自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりすることをめあてとしています。

